

藤岡市 議会だより



◆発行日 平成26年5月15日 ◆発行 藤岡市議会 ◆編集 藤岡市議会だより編集委員会 ◆印刷 イシイ印刷株式会社
◆藤岡市ホームページ <http://www.city.fujioka.gunma.jp/>

第66号



市民球場電光掲示板設置
(4月5日 落成式・交流試合)

3月定例会の あらまし

定例会は、2月28日から3月19日までの20日間の会期で開催されました。

平成26年度藤岡市一般会計予算など49議案が提出されました。

◇28・3日〓本会議 会期の決定。

市長提出議案42件を上程、うち27議案を即決。

◇4日〓経済建設常任委員会。

教務厚生常任委員会。

◇10・11日〓予算特別委員会。

◇14・17日〓本会議 一般質問。

◇19日〓本会議 委員会付託議案15件を可決。追加議案3件を即決。議員提出議案4件を即決。

大雪対策について

渡辺 新一郎

問 藤岡市の被害状況について伺います。

答 人的被害については、死亡1件、重軽傷87件、住家被害2834件、工場、店舗等の非住家被害278件、物置、カーポートなどその他建物被害4010件が報告されています。

農業用施設の被害は、ビニールハウス及びガラスハウス、畜舎、農業用倉庫な

ど、全棟数で1061棟、被害額は4億9293万円、イチゴやトマトなどの農作物に係る農業被害額は、14億4662万円。家畜の被害では、4農家で、牛6頭、豚20頭、ヒヨコ3500羽、また10農家で、収集業務不能に伴い牛乳が2万7450kg廃棄となり、当該被害額は499万円で、市全体の農業被害額の総額は19億4454万円と報告されています。

問 除雪の基準について伺います。

答 積雪が10cmに達し、さらに降雪が進むことが見込まれる時、また10cm以下でも、交通の障害となると見込まれる時に除雪を行っています。道路除雪につきましては、国道17号は国土交通省、他の国道及び県道については群馬県、市道については藤岡市が行います。市道の主要120路線を優先し、約170kmを市内36の建設業者と委託契約して除雪を行なっています。

ついでに伺います。

藤岡市の開発について

問 インター周辺の見直しについて伺います。

答 「藤岡IC周辺地域整備構想」の見直しをする予定はありませんが、藤岡インター西の北部工業団地付近に産業団地を整備する計画があります。地元「藤岡インターチェンジ西産業団地推進委員会」より、工業団地造成事業の要望書が提出されています。

出されており、事業化に向けた協議を群馬県と行っています。

問 小野地区の八高線新駅設置について伺います。

答 新駅を設置するためには、一日当り3500人程度の新規利用者が見込まれること、用地や建設費を市が負担すること、周辺の施設整備が進められることなどの条件があり、極めて困難な状況です。

認知症高齢者支援について

斉藤 千枝子

問 認知症施策推進5力年計画について伺います。

答 標準的な認知症ケアパスの作成、普及、初期集中支援チーム、サポーター、認知症地域支援推進員の配置及び地域ケア会議の普及、定着などを平成29年度末までに整備するものです。本市では、平成26年度に地域ケア会議の機能強化を図り、ネットワークの構築、認知

症サポーターの強化などに努めていきたいと考えています。また、計画期間内に認知症地域支援推進員の配置に向けて取り組んでいきたいと考えています。

問 軽度認知障害の人の半数は何もしなければ認知症になる可能性があるが、この軽度認知障害の状態を、10分程度でその場で判別できる「頭の健康チェック」が導入できないか、また生活機能評価について、アンケートが回収されない方に対し、調べ直すことができ

ないか伺います。

答 「頭の健康チェック」については、先進地の状況を参考に検討していきたいと考えています。生活機能評価の未回収分についても再度検討し、対応していきたいと考えています。

問 引きこもりがちになる認知症の方や家族など、誰でも気軽に集える居場所・カフェができないか伺います。

答 認知症カフェは、専門家やサポーター、家族の方

動物愛護について

の協力も必要と思われますので、先進地の事例等を参考に関係者と協議をし、検討していきたいと考えています。

問 昨年9月に動物愛護管理法が改正され、施行されていますが改正点を伺います。

答 主な改正点として、動物を飼う方の終生飼養の責務が明記されました。保健所では、販売業者からの引

問 飼い主が命に責任を持つ意識啓発や、猫に首輪の装着などの指導、また不幸な犬猫を増やさないためにも、避妊去勢手術に助成できないか伺います。

答 飼う人及び周りの人に、意識啓発を行うとともに、猫に対する去勢や避妊の助成事業を検討していきたいと考えています。

災害時の情報収集、伝達について

岩崎和則

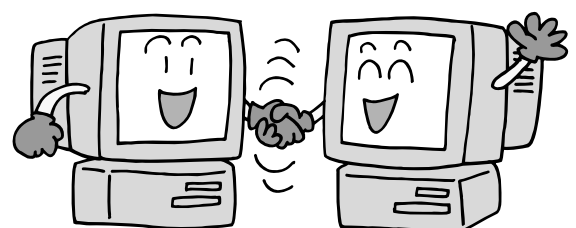
問 今回の大雪災害対応における課題や教訓を踏まえ、迅速な情報提供を行えるように取り組んでいくには、具体的にどのような情報システムがいいのか、山間部の孤立した住民の方々の意見を聞いて取り組み、研究することが必要であり、改めて防災行政無線の必要性を強く認識しましたが、市の考えを伺います。

答 防災行政無線は、緊急情報を広く地域住民に伝達できる有効な手段と考えます。しかし、防災行政無線導入に向けた検討において、大雨や暴風雨などの自然災害では屋外スピーカーの放送内容が聞き取れないことや、導入費用、年間維持費が高額であることから、導入は行わないとの結論に至りましたが、災害時における情報伝達手段の多重化の必要性は認識していますので、今後も研究を続けていきたいと考えています。

情報通信基盤の整備状況について

問 全国的に光ファイバー網を整備、推進していく上で、公設民営方式に取り組んでいる東吾妻町が、国庫補助金を活用し、その後NTTとIRU契約を結び、光ファイバー網が整備されました。提案として、藤岡市の6局あるうち日野28局と坂原56局について、東吾妻町と同様の方式による整備ができないか、市の考えを伺います。

答 東吾妻町のブロードバンド未整備地区の光ファイバー網については、国の交付金事業を利用して町が整備し、IRU契約により民間事業者に貸し出してインターネットサービスの運営を行っているものであります。このIRU契約を行うには、事業者の採算性が見込めないと難しいと考えられます。光ファイバー高速通信については、民設民営ということで引き続き事業者へ要望していきたいと考えています。



豪雪について

松本啓太郎

問 2月14日から15日の豪雪により、藤岡市農業、特に先進的な農業施設などに甚大な被害が発生しました。その再建について、報道によると、国と県、市の補助率は90%とありますが、このことについて伺います。

問 倒壊した温室のガラスの処理について伺います。

答 ガラスの処理では、北部カントリー内に3台、南部カントリー内に1台、容器を置いてあります。それに加えて農協に仮置場の設置も考えています。

問 育苗等に使用している小型ハウスの倒壊も多く見受けられますが、調査はどのようにするのか伺います。

答 今までの調査以外のもの



のについては、農林課まで連絡くださいと周知しています。

公立藤岡総合病院の統合について

問 2月18日の上毛新聞に「17年上半期に開院、藤岡市の公立藤岡総合病院を、北に1.5km離れた附属外来センターに再統合し、新病院を建設する。」とありました。そこで、具体的にどのような統合計画なのか伺います。

答 計画の概要ですが、新入院棟は地上7階建、免震構造、延べ床面積2万12

05㎡で、他に委託業者用職員棟と屋外施設等を整備し、さらに外来センターの改修も行います。病床数は現在の395床に外来センターの19床を加えた414床を維持します。事業費は、今後実施設計を行う中で変動することが予想されますが、概算事業費として、新病院建設工事費で約98億円、敷地調査・設計監理等で約3億円、医療機器整備や駐車場整備等で約13億5000万円、合計で約114億5000万円とされています。

公共工事の施工について

橋本新一

問 公共工事のあり方について伺います。

答 公共工事は社会基盤整備事業であり、公益のため施設建設工事であることから、有効かつ効率的な発注、施工が求められ、特に請負業者の決定にあたっては、競争性とともに透明性や公平性、不正行為の排除等適正な執行が求められています。

問 入札の一般的な考え方について伺います。

答 地方公共団体が実施する入札は、一般競争入札を原則とし、他に指名競争入札、随意契約による方法があります。一般競争入札は、広く入札参加者を募ることにより競争性は高まりますが、不良不適格業者等の排除が困難などの問題があります。指名競争入札については、不良不適格業者を容易に排除でき、一般競争入札に比べ、事務が簡素化さ

れる一方、指名行為による競争性の低下、入札参加機会が制限されるなどの問題があります。

また、随意契約については、競争の方法によらず、任意特定の者を選択し、契約を締結するもので、法令により該当要件が定められています。入札方法によってメリット、デメリットがあります。本市においては長年にわたり指名競争入札を基本に入札を実施しています。

問 新浄水場建設工事の入札方法と指名業者名を伺います。

答 指名競争入札で行い、クシダ工業(株)、水機興業(株)第一テクノ、藤田エンジニアリング(株)、(株)ヤマト、(株)ヤマニ熱工業の6社です。

問 平成25年6月15日、同じく9月25日、高崎の消印の差出人名のない封書が、新聞社支局を含め多数の議員宛へ郵送されて来ました。その内容は新浄水場入札の

ことでしたが、担当部は承知していたのか伺います。

答 差出人名のない、いわゆる怪文書が広く配られ、そのコピーを見たことがありません。

問 新浄水場入札について、住民監査請求、問い合わせ等があったか伺います。

答 住民からの住民監査請求等はありませんでした。

観光行政について

松村晋之

問 高山社跡の世界遺産登録を間近に控え、藤岡をPRできる大きな機会であると思いますが、増加が見込まれる観光客を、市内の各施設に訪れてもらえるような企画を考えているのか伺います。

答 高山長五郎とともに、関孝和、堀越二郎という偉大な賢人が藤岡市出身であることを紹介し、藤岡市の

歴史、文化に触れていただくとともに、観光ツアー用に野菜の集荷場などの施設見学、森林ハイキングなどの自然体験、ご当地グルメ体験など、体験型観光の推進、また市内の酒蔵や鬼瓦店の見学なども盛り込み、再び訪れたくなる街としての充実を図っていきたいと考えています。

問 群馬県内では、各方面で協議会が設立されるなど観光連携が協議されていますが、県外との連携を考え

ているのか伺います。

答 神川町と藤岡市の両観光協会を中心に、連携会議を定期的に開催しています。

問 そうした連携会議の中で、観光パンフレットなどを共同事業として作成し、より広く観光客を呼び込むために、両県でPRしていくことができないか伺います。

答 桜山公園と城峯公園の冬桜の2大名所めぐりを案

内する双方共通の観光マップを本年のシーズンまでに完成させてPRしたいと考えています。

問 そうした県境を越えた協議の場を観光連盟のような組織にできないか伺います。

答 現在、神川町と藤岡市の両観光協会を中心に組織づくりをしているところですが、今後は広く神流川流域の観光振興事業に取り組んでいけるような組織化の

充実を図りたいと考えています。民間でも連携を取っている中、もともと縁がある地域なので、行政としても、しっかりと協議していきたいと考えています。



市制施行60周年記念 事業について

茂木光雄

問 各世代向け冠公演事業について伺います。

答 中高年向けに、昨年のNHK紅白歌合戦の大トリを務めた演歌界の大御所、北島三郎さんのコンサートを企画、日程については7月6日に、昼と夜の2回の公演をみかほみらい館で開催します。

ファミリー向け公演とし

て、幼い子どもたちに人気のキャラクター、しまじろうの着ぐるみによるミュージカルショーを9月21日に同館にて開催。その他に来年2月28日に、「宝くじまの音楽会」として、南こうせつさんのコンサートも予定しています。

また、ふじまつり開催に合わせ、4月26日から5月11日までの16日間、みかほみらい館ギャラリーにて、宮崎駿監督の映画「風立ちぬ」の原画展を開催、5月3日から3日間映画を上映

し、市民だけではなく、市外、県外からも多くのお客様に来ていただき、藤岡市をPRしたいと考えています。

公園整備について

問 まちなか、住宅地の公園整備について伺います。

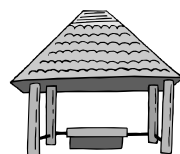
答 市有の空き地を公園として活用してはどうかというのですが、現状を考えると、ポケットパーク的にベンチ等を配置し、休息ス

ペースとしての活用が想定されます。管理担当と相談しながら利活用について検討していきたいと考えています。

また、東和銀行南の35㎡ほどの三角形の土地は、以前公衆トイレがあった所ですが、公園を設置する考えは現在ありません。

古桜町広場については、平成13年に用地取得して以来、沿道整備事業の代替地や災害時の緊急避難場所、公営住宅の整備、市街地活性化のイベント広場など多

角的に検討してきました。さらに昨年までは中心市街地雨水排水対策事業の調整池としての活用を検討してきましたが、周辺の建築物や井戸等地下水に与える影響が懸念されることから断念し、改めて庁内各課による検討会議を行い、地域の活性化に寄与する活用方法を検討していく考えです。



まちづくりについて

野口 靖

問 藤岡市において現状の市街地の環境調査を進め、その方向性を検討すべきと思いますが、現在の取り組みについて伺います。

答 「藤岡市都市計画マスタープラン」の策定時に市民へのアンケート調査を行いました。自然環境の保全、共生、少子高齢化への対応、中心商業市街地の活性化、生活道路の整備促進等の意見が多く寄せられて

おり、今後こうした意見を反映させた事業展開をしていかなければならないと考えています。

問 藤岡市の市街化区域内において、細街路未整備、幅員4m以下の道路が地区内に占める割合はどのくらいか伺います。

答 約75%が幅員4m以下の道路と推定されます。

問 藤岡市の細街路の整備について、具体的な取り組みがあるか伺います。

答 整備手法に関しては、区画整理事業等面的整備が必須です。今後は、道路整備を兼ねた面的整備を実施していく上で、従来の行政主導の面的整備事業を転換し、地域の形成、地形を生かした、また住民の意見を反映させた整備計画を策定していくことが経費の節減にもつながり、効果的、効率的な事業に通ずるものと考えています。

地域の観光産業について

問 本年は富岡製糸場と絹

産業遺産群が世界遺産に登録されることが期待されていますが、高山社跡も候補地として選定されており、来訪者に対して魅力ある藤岡市をどのように紹介するか伺います。

答 増加する観光客を高山社跡の見学だけでなく、数学者の関孝和、航空技術者の堀越二郎など、偉大な賢人が藤岡市出身であることを紹介し、藤岡市の歴史、文化に触れていただく施策などを検討しています。

問 さらなる観光産業として藤岡市において、スポーツ合宿誘致の企画があるか伺います。

答 今年度、神流川の浄法寺スポーツ公園下流にある河川敷の一部を観光目的でも使用できるグラウンドとして、観光協会が県の補助事業を活用し、整備事業を進めています。藤岡市としても、河川占用などについて協力をしています。

学校給食について

渡辺 徳治

問 昨年12月議会において、学校給食センターについて、

教育部長は「新たな学校給食センターの整備を事業実施するにあたり、基本計画の策定に際して、児童・生徒の保護者や教職員等のご意見をいただくとともに、パブリックコメント制度の活用も視野に入れ、広く市民の方に意見を聞きながら策定したい。」と答弁しています。昨年11月13日付で、

「学校給食の自校方式の実現を求める請願書」が、「藤岡のよりよい学校給食を考える会」から提出されました。

食の安全が脅かされている今だからこそ、学校給食には安全な地元農産物を使い、作り手が見えることが安心につながるとして、学校給食の自校方式の実現を求める要望書（1800人の署名）も市長あてに提出されました。

そこで、パブリックコメントはどのように行われた

のか、市民からの意見聴取はどのようにされてきたのか伺います。

答 藤岡市のパブリックコメント手続制度は、市民の市政への参画の機会を拡充するとともに、その政策形成過程における公正性及び透明性の向上を図り、もって市民との協働による開かれた市政の推進に資することを目的に、実施されています。

「建て替え検討委員会」では、本年度末までに市長

へ最終報告書を提出することになっていますが、報告書でありますのでパブリックコメント手続制度の対象とならないものと考えています。

問 給食センター運営委員会の協議内容について伺います。

答 「藤岡市給食センター運営委員会」では、平成22、23年度に、給食センターの建て替えを課題として、ご意見をいただきました。特

にその形態については、自校方式なのか給食センター方式なのか、時間をかけて協議していただきました。その結果、自校方式は理想ではあるが課題も多く、現実的な選択肢としては給食センター方式になるという意見に集約され、給食センター方式で建て替えを進めていくということで了承をいただいています。



インター周辺整備について

神田 和生

問 藤岡市の今後の工業団地の展望について伺います。

答 （仮称）藤岡インターチェンジ西産業団地として工業団地造成事業の要望書が地元の推進委員会より提出されており、事業化へ向けて群馬県と協議しています。

た企業は交通の要衝としての利便性を活かした物流関連業者が多いと思います。太田市国際貨物ターミナルのような物流団地を作る計画はないか伺います。

答 現在のところ、物流関連企業などの業種に限定することなく、製造業など幅広い分野の企業を対象にした工業団地を考えています。

問 用排分離が排水計画の基本だと思えますが、インター周辺の排水の現状と今

後の計画について伺います。

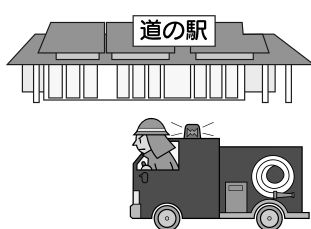
答 現在、北藤岡駅周辺土地区画整理事業に合わせ雨水幹線水路を整備中であり、区画整理区域内においては用排分離のめどが立っています。その他の区域につきましては、雨水幹線水路の整備に合わせ、道路側溝の放流先を水路から切りかえ、良好な環境が確保できるよう進めていきたいと考えています。

問 道の駅は各地域におい

て幹線道路沿いにあり、災害時の防災拠点になり得ると思いますが、ららん藤岡の展望について伺います。

答 道の駅は制度発足から20年、全国各地に広がり、現在1000を超える施設が登録されており、売上高は大手コンビニエンスチェーン並みの規模となっています。近年は農業、観光、福祉、防災、文化など、地域の個性、魅力を生かしたさまざまな取組が進められています。ららん藤岡は現

在、群馬県と災害協定を結んでいます。東日本大震災の際にも防災拠点として活用された東北の道の駅の事例もありますので、今後は地震等の災害に備えていきたいと考えています。



教務厚生常任委員会報告

所管調査

調査年月日 ◆平成25年7月26日(金) 午後1時30分より

みどりの学童クラブ について

藤岡市の児童数は減少の傾向にありますが、核家族化・共働き家庭や一人親家庭の増加にともない、平井・日野地区での学童保育の需要が高まったことから、子どもたちが放課後も健康で、安心して安全な生活が送れる環境を整備することを目的に、学童保育所の施設整備を進め、みどりの学童クラブとして平成25年1月末に竣工となりました。定員40人の施設は、保育室、図書コーナー、静養室、洗面台、給湯室等を整備したほか、日野地区用送迎車として10人乗りワゴン車を配備しています。共働き家庭の増加



や社会環境の変化、子どもたちを取り巻く諸課題に対して、子どもの安全面からも子育て支援環境の充実を図ることは重要であり、保護者からの要望も増える中で、さまざまなニーズへの対応や施設づくりが求められています。今後民間事業者との協力も得ながら進めていく必要があると考えます。

国民健康保険鬼石病院と介護老人保健施設鬼石について

鬼石病院の病床数は、一般病床52床、療養病床47床で診療科は、内科、外科、整形外科、眼科となつています。急性期から慢性期医療、リハビリ、在宅医療を展開し、救急医療では24時間対応となっています。併設する介護老人保健施設では、入所50人、通所リハビリ20人とし、介護及び機能回復訓練を行い、その自立を支援し、家庭復帰を図ることを目標とする施設となっています。高齢化時代に対応するために保健、医療、福祉の連携のもとに、包括的地域医療に取り組んでいます。



ます。人口減少が顕著に現れているこの地域診療圏において、医療、介護を取り巻く環境は厳しく、過疎化の進行により高齢者人口は一層増加すると考えられます。療養病床や老人保健施設、特殊診療科の充実、今後必要であり、地域住民が老後まで健康で安心して暮らせるための医療環境整備を担う地域医療施設の役割は多大であると考えます。



委員長	大久保協城
副委員長	渡辺 徳治
委員	高桑 藤雄
委員	橋本 新一
委員	岩崎 和則
委員	佐藤 淳
委員	冬木 一俊

議案等審議結果〈3月定例会〉

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
諮問 1 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし (全員一致)
第 1 号	三波川財産区管理会委員の選任について	同意 (全員一致)
第 2 号	社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決 (多数)
第 3 号	藤岡市歯と口の健康づくりの推進に関する条例の制定について	可決 (全員一致)
第 4 号	地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決 (全員一致)
第 5 号	藤岡市保育園条例の一部改正について	可決 (多数)
第 6 号	藤岡市小口資金融資促進条例の一部改正について	可決 (全員一致)
第 7 号	ららん藤岡の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決 (多数)
第 8 号	藤岡市鳥獣被害対策実施隊設置条例の制定について	可決 (全員一致)
第 9 号	藤岡市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決 (多数)
第 10 号	藤岡市体験学習館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決 (多数)
第 11 号	藤岡市立学校設置条例の一部改正について	可決 (全員一致)
第 12 号	藤岡市社会教育委員設置条例の一部改正について	可決 (全員一致)
第 13 号	藤岡市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決 (全員一致)
第 14 号	公の施設 (高崎市南部野球場) の設置に関する高崎市との協議について	可決 (全員一致)
第 15 号	市道路線の廃止について	可決 (全員一致)
第 16 号	市道路線の認定について	可決 (全員一致)
第 17 号	平成 25 年度藤岡市一般会計補正予算 (第 3 号)	可決 (全員一致)
第 18 号	平成 25 年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算 (第 3 号)	可決 (全員一致)
第 19 号	平成 25 年度藤岡市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 2 号)	可決 (全員一致)
第 20 号	平成 25 年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計補正予算 (第 2 号)	可決 (全員一致)
第 21 号	平成 25 年度藤岡市介護老人保健施設特別会計補正予算 (第 1 号)	可決 (全員一致)
第 22 号	平成 25 年度藤岡市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算 (第 1 号)	可決 (全員一致)
第 23 号	平成 25 年度藤岡市学校給食センター事業特別会計補正予算 (第 1 号)	可決 (全員一致)
第 24 号	平成 25 年度藤岡市下水道事業特別会計補正予算 (第 3 号)	可決 (全員一致)
第 25 号	平成 25 年度藤岡市特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算 (第 1 号)	可決 (全員一致)
第 26 号	平成 25 年度藤岡市簡易水道事業等特別会計補正予算 (第 1 号)	可決 (全員一致)
第 27 号	平成 25 年度藤岡市三波川財産区特別会計補正予算 (第 1 号)	可決 (全員一致)
第 28 号	平成 25 年度藤岡市水道事業会計補正予算 (第 4 号)	可決 (全員一致)
第 29 号	平成 25 年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計補正予算 (第 1 号)	可決 (全員一致)
第 30 号	平成 26 年度藤岡市一般会計予算	可決 (多数)
第 31 号	平成 26 年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計予算	可決 (全員一致)
第 32 号	平成 26 年度藤岡市後期高齢者医療特別会計予算	可決 (全員一致)
第 33 号	平成 26 年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計予算	可決 (全員一致)
第 34 号	平成 26 年度藤岡市介護老人保健施設特別会計予算	可決 (全員一致)
第 35 号	平成 26 年度藤岡市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可決 (全員一致)
第 36 号	平成 26 年度藤岡市学校給食センター事業特別会計予算	可決 (多数)
第 37 号	平成 26 年度藤岡市下水道事業特別会計予算	可決 (全員一致)
第 38 号	平成 26 年度藤岡市特定地域生活排水処理事業特別会計予算	可決 (全員一致)
第 39 号	平成 26 年度藤岡市簡易水道事業等特別会計予算	可決 (全員一致)
第 40 号	平成 26 年度藤岡市三波川財産区特別会計予算	可決 (全員一致)
第 41 号	平成 26 年度藤岡市水道事業会計予算	可決 (多数)
第 42 号	平成 26 年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計予算	可決 (全員一致)
第 43 号	工事委託協定の締結の議決事項の変更について	可決 (多数)
第 44 号	平成 25 年度藤岡市一般会計補正予算 (第 4 号)	可決 (全員一致)
第 45 号	平成 26 年度藤岡市一般会計補正予算 (第 1 号)	可決 (全員一致)
議員提出議案		
第 1 号	「協同労働の協同組合法 (仮称)」の速やかなる制定を求める意見書の提出について	可決 (全員一致)
第 2 号	「手話言語法」の制定を求める意見書の提出について	可決 (全員一致)
第 3 号	豪雪被害からの生活再建及び早期復旧に関する意見書の提出について	可決 (全員一致)
第 4 号	藤岡市議会会議規則の一部改正について	可決 (全員一致)
請 願		
第 1 号	「手話言語法」の制定を求める請願	採択 (全員一致)
陳 情		
第 1 号	「協同労働の協同組合法 (仮称)」の速やかなる制定を求める意見書に関する陳情	採択 (全員一致)

委員長 松村 晋之
 副委員長 青木 貴俊
 委員 岩崎 和則
 委員 佐藤 淳
 委員 齊藤 千枝子
 委員 冬木 一俊
 委員 隅田川 徳一

議会だより編集委員会

えております。

今後、市民の皆様にとつて、議会の活動をわかりやすくお伝えできるよう、議会だよりを編集して参りたいと考えております。

今まで経験したことのない豪雪から三ヶ月が経ち、山の若葉も次第に色濃くなり、さわやかな季節となりました。

3月定例会では、平成26年度一般会計予算をはじめ、各議案の議決を行いました。また、豪雪被害対策の補正予算を審議し、可決いたしました。

一般質問は、10名の議員が行い、藤岡市の将来について活発な議論が交わされました。

編集後記